



編集 SEF事務局  
 連絡先 03-3726-3411  
 URL <http://sef-jpn.org>

**巻頭のことば 「上手に年をとろう」**

副理事長 新家彦司

詩人 坂村真民の晩年の作に『年をとることはいいことだ とってみなければ わからない世界が 開けてゆく 特に今年は 何かすべてが 新鮮だ』という詩があります。

私はこの詩に出会う迄は、新年を迎える度に、年をとっていくという事を悲観的にとらえていましたが、この詩を読んでからは、年をとるという事は、未知の人生に入っていく事であり、楽しい事であると思えるようになりました。

年齢に応じて成長し、新たな感動を覚え道理を悟っていけば、年をとるのも大いに結構であり、一生は豊かで素晴らしいものになるでしょう。しかし、そのためには漫然と毎日を送るのではなく、自己を磨き、啓発し、年齢相応の人間になっていく必要があります。

SEFでの諸活動が会員の皆様の年齢相応の人間形成に少しでも役立ってくれればと願っています。

**11月度理事会より (第93回 11月24日)**

- |                          |                             |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1. テクノジャパン販売支援業務 / 審議・承認 | 4. SEF 事業実績表 / 報告           |
| 2. クニミネ工業コンサル満期終了 / 報告   | 5. SEF 事業検討課題 / 提案・理事検討会に付託 |
| 3. H22年10月度収支 / 報告       | 6. 経理アドバイザー委託契約書 / 審議・承認    |

**事業報告 「教育・研修事業部」成行**

担当役員 石田理事

教育・研修事業部は昨年度までのE&C事業部を発展的に解消し、本年度4月より発足しました。職業能力開発総合大学校(職業大学)への講師派遣を中心とし、上期では実務経験者へのゼミナー(1週間程度の集中講義)2件、即ち高周波回路設計技術(丸山会員) 機械保全実践技術(松井(武)会員)を実施してきました。

10月~来年3月の後期は学生への講義で、シーケンス制御実習、ソフトウェア工学、情報理論、機械保全、機械保全実習、高周波工学などの6講座を受け持つことになり、各々週1回の講義ですが、野崎、青木、松井(武)丸山会員が精力的に取り組んでいます。

**SEFサロン 第61回報告 (11月24日)**

サロン担当 水嶋靖昌

「日比欧友愛の架け橋」について(講演補遺) 講師: 那波新平氏ご寄稿

先般の講演「地球温暖化を阻止するための環境商品の利用」において、レジュメの最後の項目にあった、講師の近著「日比欧友愛の架け橋」に言及できなかったため、同書に関する「めざましタイムズ」(湘南地方のASAミニコミ紙)編集長の紹介文に若干手を入れて、ご寄稿戴きました。

『元商社マンで現環境コンサルタントの那波さんが、今般海外でのビジネス体験を基に第2作目の著書「日比欧友愛の架け橋」を出版されました。商社時代の豊富な海外経験を通じて、日本が抱えている問題と今後の展望を自叙伝風に纏めた作品です。彼は三井物産で30年間勤務され、バブル崩壊後直ちに退社なさると比国に赴き、爾後7年間同国でインフラ事業(首都圏ダム建設)に従事されました。

同書では、この10年間に、日本では毎年3万以上の人が自殺しているのに、比国では何故自殺者が極端に少ないのか?を、同国社会の表裏を具に観察し、検討されています。自殺の問題では、人間にとって何が幸せで、何が不幸であるか考察すると同時に、米国でのオバマ政権と日本の民主党政権の成立を糸口に、日本における自殺のゼロ化を論じております。更に、地球温暖化とエネルギー不足の解消、そして、一世紀後には世界統一国家を建設するという夢を語るなど、長年に亘り思い描いて来た考えを世に問おうとされています』

<次回(第62回)開催案内> 日時: 2011年1月26日(水) 18時 場所: 青学会館内、レストラン・フィリア  
 講師: 安東 達氏 (元黄桜酒造 東京支店長) 演題: 「お酒談義」(予定)

**11月度会員動向**

会員入退会	なし	11月末現在の会員数	正会員 36名	準会員 41名
			賛助会員 3社	